

令和2年12月吉日

オアシス社員各位

特定非営利活動法人オアシス
理事長 足立 泰敏

広報オアシス 41号の発行について（お届け）

師走の候 世界中が新型コロナ感染に振り回された一年。貴台におかれましても日々の生活や仕事などご労苦が多々あったことと拝察いたします。日頃は、本法人の活動に対してご理解、ご尽力をいただき改めて感謝いたします。

さて、コロナ禍が心配される中ではありましたが、本年度オアシス研修会を50名余の参会者を得て無事開催することができました。同封の広報オアシス41号では、本会の内容を特集しダイジェスト版にしてみました。併せて、参会者のアンケート集約結果も同封いたしましたのでお目通しください。

その中、一部参会者の感想を拾い挙げてみますと、「カンボジアも日本も仏教国であるのに、信仰心があまりにも違うこと」「もったいないを忘れかけている日本人」、そして、「海外の人たちが持っているイメージに恥じないような日本人になろう！」などの声があり、私たちの当り前感覚を問い直す場になっていたと受け止めています。主催者の一人として大変嬉しく思っています。

コロナ禍でのカンボジア支援活動は、カンボジア現地での活動はもちろん、国内の関連事業も中止、縮小を余儀なくされてきました。しかし、この一年を支援活動の問い直しの時と位置づけ、『第3世代のカンボジア支援活動』に向けて構想・戦略を練っていきたいと思います。忌憚のないご意見を期待しています。

さしあたって、本年度後期の主な活動は、これまで支援者の皆さんからいただいた1万点余の寄贈品のリスト作成と、それに係わるコンテナ輸送の準備作業を予定しています。今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

注：第1世代のカンボジア支援活動（2008～2012年）：現地の求めに応じて地域を替え、支援材を変えるなど主としてハード面提供の支援活動。「サンタクロース型支援活動」と呼ぶ。

第2世代のカンボジア支援活動（2013～2020年）：人づくり・事づくりに重点を置き、現地と協働して教育環境づくりをめざす支援活動。「フレンドシップ型支援活動」と呼ぶ。

追伸 広報配布分の追加部数がありましたら事務局までお申し出ください。